

令和3年7月27日

## <豪雨災害の支援の御礼とご報告>

猛暑の折、皆様、恙なくお過ごしのことと存じます。

さて、去年の球磨川豪雨から、はや1年余りが経ちました。その節は、全国の皆様方には、遠路、わざわざ駆けつけていただき、温かいお励ましのお言葉や支援物資、お見舞金、並びにボランティアとして汗を流していただき、皆様方の優しさに感動の涙を禁じ得ない日々を過ごした次第でございました。本当に、ありがとうございました。ここに、改めまして、衷心より厚く御礼を申し上げます。

今年も7月10日に身の安全の確保を呼びかける特別警報が人吉地方にも発令されましたが、お陰様で事なきを得ました。これまでの1年間は、再び災害に見舞われるのではないかと身構えておりまして、本当に、災害は、遭って初めて、その恐ろしさを知るものと実感いたしております。

ただ今、人吉市内は、被災家屋や店舗の解体が進み、空き地だらけとなっておりますが、空き地に家が再び建つものか、店舗が再開されるものか、不安が渦巻く現実に直面いたしております。また、被災されました市民の皆様方は、「雨が降るたび、いつ警報が出されるのか、怖くてなかなか眠られない」とか、帰る家もない人々とか、大変な困難に遭遇しているところでもあります。これから、本格的な復興への国、県の力強いご支援が必要かと考えております。

弊社も、仮事務所が、昨年9月には復旧いたしました。ただ今、これから復旧費用の原資となる補助金申請に進もうかというところでございます。その申請の承認に3か月、そこから資材の手当て、リフォームとなり、凡そ完全復旧までは、あと1年余りかかるのではないかと存じております。

しかし、弊社社員一同、団結し、完全復旧に向けての目標を持ち、最高の感動を提供するご葬儀をと励んでいるところでございます。これからも旧に倍ましてご指導ご鞭撻を賜りますように、心からお願い申し上げます、まずはご報告とさせていただきます。ありがとうございます。

株式会社 香花堂 代表取締役 田中 信孝 社員一同